

暑さを乗り越え、トマトの袋培地を設置！

施設野菜専攻の夏は9月から始まる栽培に向けて、ほ場の片付けや土壌消毒、施設のメンテナンス作業が中心になります。

今年は、ここ数年土壌病害に悩まされていたトマトについて、土耕隔離床栽培から養液栽培に切り替えます。汚染土壌をほ場から運び出し、袋培地栽培に変更します。この栽培法では、培地が地床から隔離されているため、外部からの汚染がなければ土壌病害による被害の心配はありません。また仮に、土壌病害が発生しても被害が拡大せず、汚染された袋培地を新しいものと取り替えることにより対応できます。

担当ハウスの学生たちは、暑い中一生懸命に汚染土壌をかき出し、創意工夫をしながら新しい袋培地の設置を行いました。



土壌病害に汚染された土壌をかき出しています



防草シートを敷設しています



袋培地を等間隔に設置しています



袋培地に定植穴を均一に空ける器具を自作しています



きれいに定植穴を空けることができました！